

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2020年10月26日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	前橋市役所	代表者名	山本 龍
担当者部署	政策部	連絡先電話番号	027-898-5883
担当者役職	課長	担当者氏名	岡田 寿史
住所	371-8601 群馬県前橋市大手町二丁目12番1号		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	庄司 昌彦
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	データを根拠に地域のデジタル化を進める際に忘れてはならない視点「誰も取り残さない」を、withコロナの今だからこそより強く意識して事業を進めていくべきと認識できた。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2020年10月26日	10時00分	11時45分		105
	派遣形態	支援・助言(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	10人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	個人情報の利活用とプライバシー保護のバランスを取りつつ、地域住民の理解を促しながら、官民データの効果的な活用を推進するために障壁となる課題やそれを解決するノウハウ、最新の社会動向等を理解する必要があるため。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	職員の啓発	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	・官民データ活用推進計画を活用した地縁団体や企業との連携	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	データ活用について、データが示す孤独問題をデジタル化により地縁団体や地域企業とともに地域課題の解決に向けて進めていく考え方のみならず、問題点を内包しつつ価値を生み出したり増幅したりすることを考えていく発想の転換も有効であり、多様性があり実効性のある持続可能な施策を住民参加で行っていく重要性が認識できた。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 情報政策課、行政管理課、未来の芽創造課職員向けの講演であり、受講後アンケート結果の利用想定がなかったため。(質疑応答は講演時間内で済んでいます。)	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿		

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

